



**PLAY BACK 2004**

①第1クール vs JEF市原・千葉ユース (先制点を奪われたが、長尾の終了間際の劇的な逆転ゴールで2-1で初勝利)  
②第2クール vs 東京海上火災保険サッカー部 (社会人のフィジカルの強さを感じるも、新メンバーの活躍で3-1で勝利)  
③第3クール vs 横浜武蔵野FC (JFLのサブチームを相手に前半は苦しいが、後半富田の2ゴールを含む3-0で勝利)

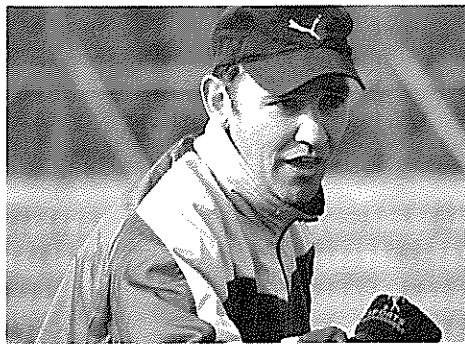


**「サークルにも目標ができた(坂本)**  
サークル代表活動は果たして彼らに何を与えたのだろうか。  
「高校の部活を引退してから、もうサッカーで大きなものに挑戦していくことはないだろう」と思っていた「柳川」という選手達が「サークルでは味わえない緊張感(大田)」の中、「サッカー好きで上手い人達と、素晴らしい指導者の下で、この上ない環境でサッカーができる(風間)」。「候補から代表に選ばれれば経験したことのないレベルのチームと対戦でき、(佐藤秀)」「サッカーに対して遊びから本気でやりたい気持ちにさせてくれた(鈴木)」と選手が口を開く。挑戦することが個人やサークルを進化させた、そういうことだろう。

サークル代表レポート... 4  
**サークル代表**

2005年版 早くもスタート

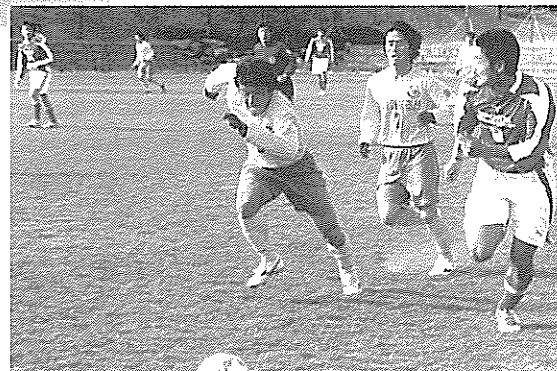
2005年は代表への道がさらに増え、大学生なら誰でも参加できる「オープンセレクション」を開催。サークルの選手には「伝えれば響くものがある」という宮澤ミシェル監督が今年も本気モードで熱く伝えます!



**挑戦は終わらない。**

2004年版 最後の挑戦は韓国 K-2

Jユース、社会人、JFLと、レベルアップするチームを次々と撃破し続けてきたサークル代表が、最後に挑んだ相手は韓国リーグのK-2に所属する「現代尾浦造船ドルフィンFC」。年間活動で彼らが得たものとは果たして...



**K-2相手に完敗も大きな収穫**  
最終メンバー18名に選ばれた代表選手は、2/22から3泊4日の韓国遠征へと出発した。翌23日、日韓W杯でブラジルがキャプテンをばったという選手に現れたその相手選手達は、でかくて、こつこつアジアの強国「韓国」に抱いていたイメージと視覚的情報と一致し、「みんなびびっていたよ(北原)」。「みんなそんな姿を見てか、宮澤ミシェル監督は「サッカーというのは、積極的な気持ちでしかプレーできない。ここいらで全員の感謝して、全員が準備をして、全員で戦おう」と、萎縮する選手に徹を飛ばし、ピッチに送り出した。  
主権は最初から握られた。「技術的には負けないと思つた(岡)」と語るようにテクニクがうぬぬんより、豊富な運動量、球際の力強さ、判断とプレーのスピード、競り負けない(アタック等)圧倒的なライバルの差での主権支配だ。ワイドすぎるぐらいのサイドからの攻撃に、攻撃が魅力のMF内山、FW富田らもデファレンスに東奔西走し、GK寺島のファインセーブと大中を中心としたDFでギリギリで凌ぐ時間が続いたが、前半25分頃に先制点を奪われた。後半韓国はプレースタイルに慣れ始めたサークル代表は、北原の投入でDFラインが安定感を取り戻す。攻撃では「スペースへの捨て玉も必要」という監督の指示通り、MF佐藤秀や坂本からFW佐藤洋の足を生かす形が徐々に作られる。また唯一相手にインパクトを与えたDF北原が、逆にサイドから攻撃を仕掛けるなど、少しずつ劣勢を跳ね返すが、決定機には至らず、逆の後半30分、力強いドリブルから、追加点を許す。「前半からうちのペースだったけど、なかなか点がとれず1点で前半終了。後半流れを変える攻撃的選手を投入し、追加点を取り戻したがDF・GKが良く、1点を追加しただけで終わった。日本のチームはテクニクがあるから、スケールの大きいサッカーをすればもっと良いと思う」とチョウ監督が言うように、相手としては歯がゆい展開だったようだ。勝負には負けたが、得たものは非常に大きい。強いチームとやれたこと以上に、日本においては決して分らない「韓国サッカー」を体感できたことが、新たなサッカー観を選手に与えたようだ。「経験をした者は人に伝える責任がある」ミシェル監督の言葉通りこの経験をサークル活動に生かしてほしい。

韓国遠征チャレンジゲーム (45分-45分)  
2/23 (水) 会場: 蔚山科学大学天然芝グラウンド

サークル代表 0 0 : 1 2 現代尾浦造船ドルフィンFC (K-2所属)

GK 1 寺島 真希	日本大学サッカー部	GK 1 キム ミョンファン	蔚山大学サッカー部
DF 20 柳川 亮	日本大学FC	DF 15 イ ジェジョン	蔚山大学サッカー部
DF 3 近藤 英彰	中央大学サッカー部	DF 16 キム ジュンヨン	中央大学サッカー部
DF 4 大 中 彰	中央大学サッカー部	DF 24 ベ チュンギ	中央大学サッカー部
MF 8 北原 修平	韓国釜山FC	MF 10 チョン ジェソク	韓国釜山FC
MF 13 仲島 洋平	韓国釜山FC	MF 11 ヤン ジフン	韓国釜山FC
MF 18 崎海 祐介	中央大学サッカー部	MF 12 チン キョンソン	中央大学サッカー部
MF 19 奥津 航太郎	日本大学法政大学サッカー部	MF 14 ウ ジュヨン	日本大学法政大学サッカー部
MF 2 佐藤 秀二	朝鮮大学OFF SOE	MF 20 チョン ジョンヒ	朝鮮大学OFF SOE
MF 5 岡 源一郎	中央大学FC	FW 7 パク ヒョン	中央大学FC
FW 6 内山 湧一	中央大学フット	FW 17 イ ジンソク	中央大学フット
FW 7 風間 拓行	FC東京		
FW 9 鈴木 良太	FC東京		
FW 12 辰橋 政彦	朝鮮大学サッカー部		
FW 16 坂本 良太	法政大学FC		
FW 10 富田 武	日本大学法政大学サッカー部		
FW 11 佐藤 洋平	日本大学法政大学サッカー部		
FW 17 荒川 航	日本大学法政大学サッカー部		
監督 宮澤ミシェル		監督 チョウ ドンヒョン	

**スーパースター募集中!!**  
**君も挑戦! サークル代表 2005**  
門戸開放! サークル代表2005は3段階でチャレンジできる。

1. (本部推薦枠) 選考大会にエントリーしてスーパースターを見せる!  
2. (チーム推薦枠) 選考大会で本部推薦から選んでも、トレーニングキャンプへの志願参加OK!  
3. (監督推薦枠) 選考大会外からのオープンセレクション参加もOK!

【サークル代表にチャレンジするには】

- ステップ1 選考大会.....本部推薦、チーム推薦をもらえるよう、がんばろう!
- ステップ2 オープンセレクション.....志願者のみの完全なるゲーム形式セレクション。選考のほかもミシェル監督。
- ステップ3 トレーニングキャンプ.....ミシェル監督のもと、サークルでも使える練習メニューとゲームで選手を2回かけて選考。
- ステップ4 チャレンジゲーム.....サークルレベルを超えたチームと対戦。相手は段々強くなる。
- ステップ5 海外遠征.....招待遠征。サークル代表の誇りを胸に海外で活躍。
- ステップ6 個人の挑戦.....その後の、上のチームへのステップアップはキミ次第!

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

ATLAS CUP (2回戦)  
① 3/2 (水) ~ 4 (木)  
② 3/5 (土) ~ 6 (日)  
③ 3/7 (月) ~ 9 (水)  
④ 3/10 (木) ~ 12 (土)  
⑤ 3/13 (日) ~ 14 (月)

チャンピオンズ マッチ (1回戦)  
① 4/1 (日) ~ 2 (月)

アジアカップ (2回戦)  
① 5/3 (火) ~ 5 (木)

新入生歓迎杯 (2回戦)  
① 6/11 (日) ~ 12 (月)  
② 6/18 (日) ~ 19 (月)

夏の陣 (2回戦)  
① 8/20 (日) ~ 22 (月) (2回戦)  
② 8/20 (日) ~ 9/1 (水) (1回戦)  
③ 9/5 (月) ~ 8 (水) (2回戦)  
④ 9/12 (月) ~ 15 (木) (2回戦)

チャンピオンズ マッチ (1回戦)  
① 10/1 (日) ~ 2 (月)

オープンセレクション 各組限定36名

第1クール (4月)  
① ~ ⑤大会より  
【本部推薦】18名  
① ~ ⑤大会より  
【チーム推薦】18名

第2クール (7月)  
① ~ ⑤大会より  
【本部推薦】5名  
① ~ ⑤大会より  
【チーム推薦】5名  
セレクションより  
【監督推薦】8名

第3クール (9月)  
① ~ ⑤大会より  
【本部推薦】9名  
① ~ ⑤大会より  
【チーム推薦】9名

海外へ挑戦  
サークル代表 18名 招待遠征  
日程 10月下旬 (平日・3泊4日)